

美唄市

0322 谷内 沙紀

1. 美唄市の概要

1.1 美唄市の由来

美唄市の由来は、アイヌ語の「ピパオイ」(カラス貝の多い所)と言われ、沼地、河川の多い土地だった。

1.2 美唄市の歴史

美唄市は 1948 年に沼貝村として誕生した。屯田兵によって開拓の歴史が始まり、後に炭田の採掘が盛んになり三井、三菱を中心とする 13 の炭鉱によって急速に成長した。人口は 1955 年初めに 9 万 2000 余人を記録した。しかし、その後のエネルギー革命で閉山が相次ぎ、市から転出する人が急増した。

炭鉱は 1973 年に完全に姿を消し、炭鉱のまちから農工商の調和のとれた都市への転換を目指した。1968 年、現在の専修大学北海道短期大学が開校、また工業団地整備による企業誘致や自衛隊誘致も実現、空知の主要都市として伸展した。1990 年に開基 100 年を迎えた。1992 年に情報産業集積の拠点施設として美唄ハイテクセンターが建設された。

2. 美唄市の地理・気候

2.1 美唄市の地理

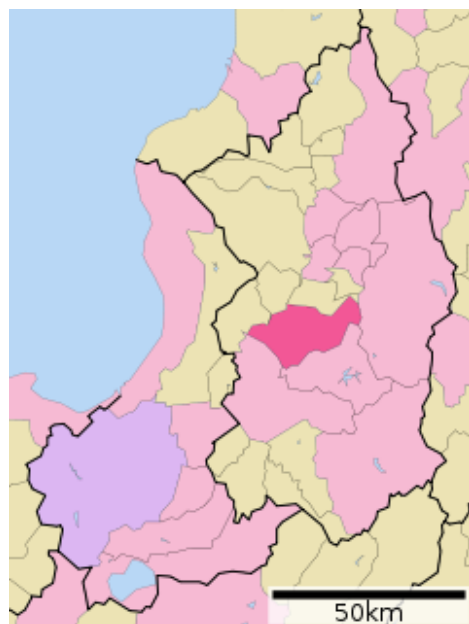
空知地方の中央部に位置し市内を南北に国道 12 号函館本線が平行して縦貫している。

地形相は国道 12 号を境に東西に分かれ、石狩川東西沿いに発達した石狩平野である西部には、石狩川の河跡湖群である湖沼が点在するほか、泥炭と呼ばれる寒冷地特有の湿地帯が多い。

東部は夕張山地につづく丘陵・山岳地であり、石狩炭田の一部で豊富な石炭を産出し、道内特有の採炭地であった。

また、光珠内地区の山岳部ではアンモナイトの化石が輩出される。

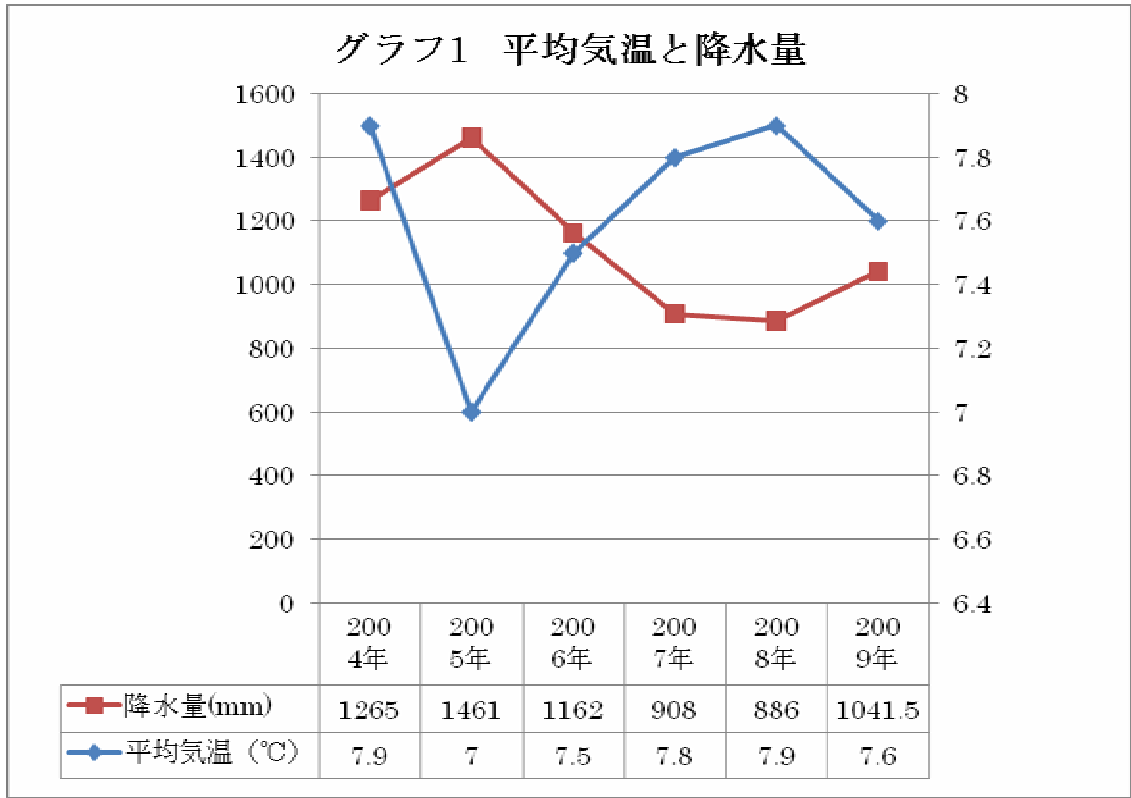
図 1 美唄市の地図



出典：wikipedia

2.2 美唄市の気候

美唄市にグラフ 1 から分かる通り、平均的に 7 を超えている。しかし、2005 年度だけ 7 を下回っている。これは、グラフ 1 の 2005 年度の降水量を見ると 1400mm を超えていることが分かる。この結果から、雨が多かったため日照不足だったので気温が上がらなかったと考えることができる。

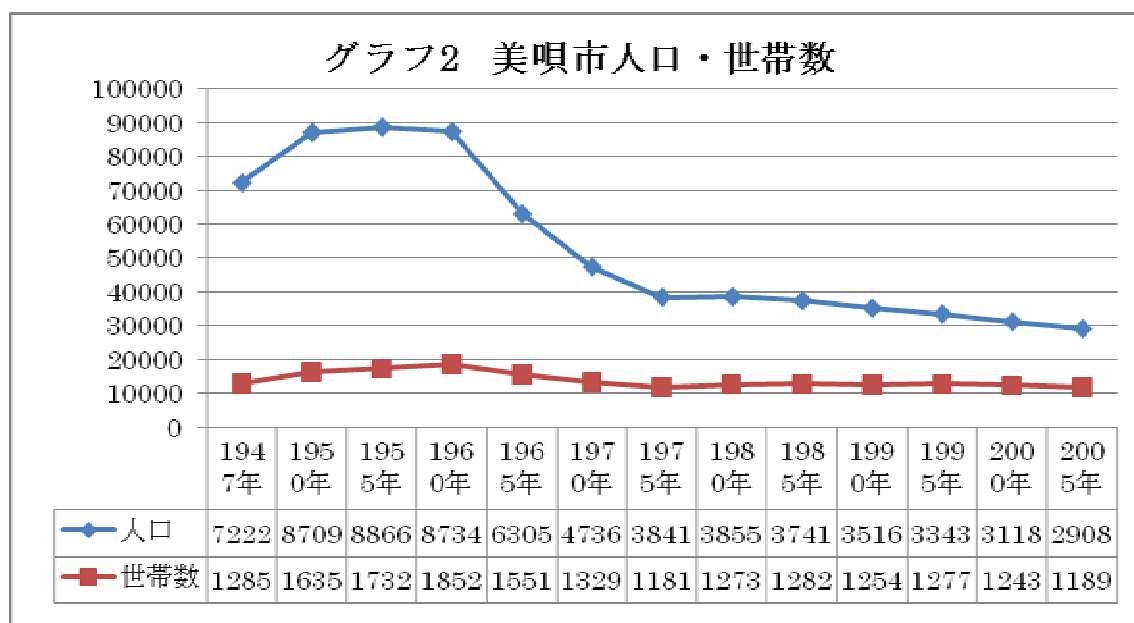


出典：札幌管区気象台

3.美唄市の人口・世帯数推移

1947 年から美唄市では第 2 次産業であった炭鉱業が盛んであった。1947 年で 70000 人を超え、1955 年では約 90000 人にむかえ町全体が炭鉱によって栄えていた。そして 1947 年から約 20 年間は炭鉱で働こうとする人々が美唄市に住んでいたと考えられる。

しかし、1970 年から炭鉱が衰退したため仕事を求めて人々が都市部に移住したので人口が減ったのではないかと考えられる。



出典：国勢調査

4. 産業

4.1 炭鉱

1970年に炭鉱は衰退してしまった。かつての美唄市を支えたのはまぎれもなく炭鉱であった。そこで、いくつかの炭鉱を紹介しようと思う。

～三菱美唄炭鉱～

図2 北海道遺産に指定された三菱美唄炭鉱
立坑巻場櫓

1913年、独立系の飯田炭鉱として開発が進めてきたが1915年に三菱が買収して三菱美唄炭鉱となる。その後、三菱鉱業美唄鉄道線を開通させ生産力を伸ばし、大夕張と並ぶ三菱の主力鉱山として名を馳せた。最盛期の1994年には年間180万トンの生産量を誇った。しかし、1973年に閉鎖した。かつて都市としての規模を誇った常盤台地区は、閉山と共に多くの住民が去り、現在は公園として整備されているが、ほぼ無人地帯となっている。



出典：空知総合振興局

～三井美唄炭鉱～

1918年採掘を開始し美唄駅から専用鉄道を敷設し石炭輸送を行っている。1963年に閉鎖。規模は大きかったものの同じ市内に位置した三菱美唄炭鉱と比べて採炭量は劣り、石炭産業の集約化を進める中で行われたスクラップアンドビルドの対象にはなり得ず早期に閉鎖を余儀なくされた。2008年石油、輸入石炭の価格が高騰、それにより国内産石炭の競争力

が向上したとして三井鉱山は新たに露天掘りの鉱区を開発する方針を固めた。採掘した石炭は主に火力発電の燃料として電力会社に販売する計画だという。

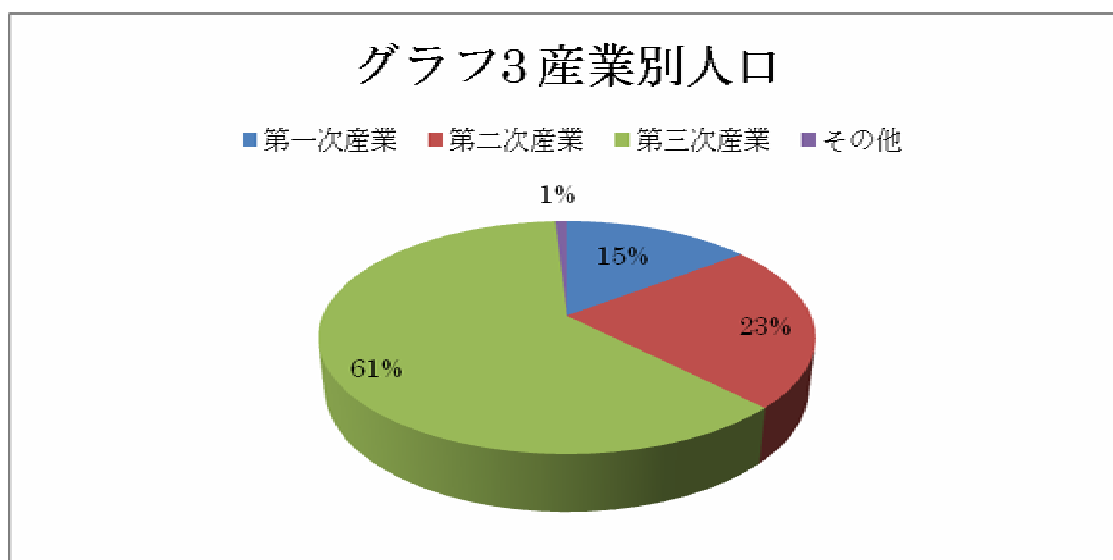
～北菱産業埠頭美唄炭鉱～

三菱マテリアルの子会社である北菱産業埠頭が、美唄市盤の沢地区で運営する炭鉱。2007年現在も稼働中。露天掘りにより年3万トン程度を生産していたが、2007年には原油価格の上昇により北海道電力や製紙会社向けの引き合いが増加。年産9万トン程度の生産量が見込まれている。

4.2 美唄市の産業

現在では第二次産業から第三次産業が主になっている。第三次産業は全体の7737人(61%)で第二次産業は2894人(23%)、そして、第一次産業は1837人(15%)だ。

だが注目してほしいのは第一次産業だ。グラフ3では第二次産業に劣ってしまっているが、美唄市では農業に力を入れているので今後の第一次産業の伸びに期待できるだろう。



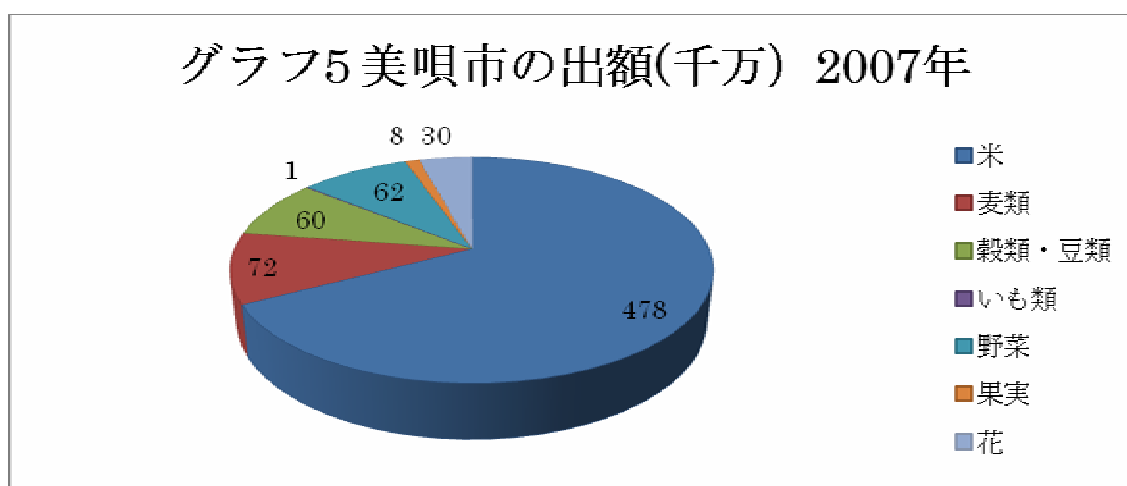
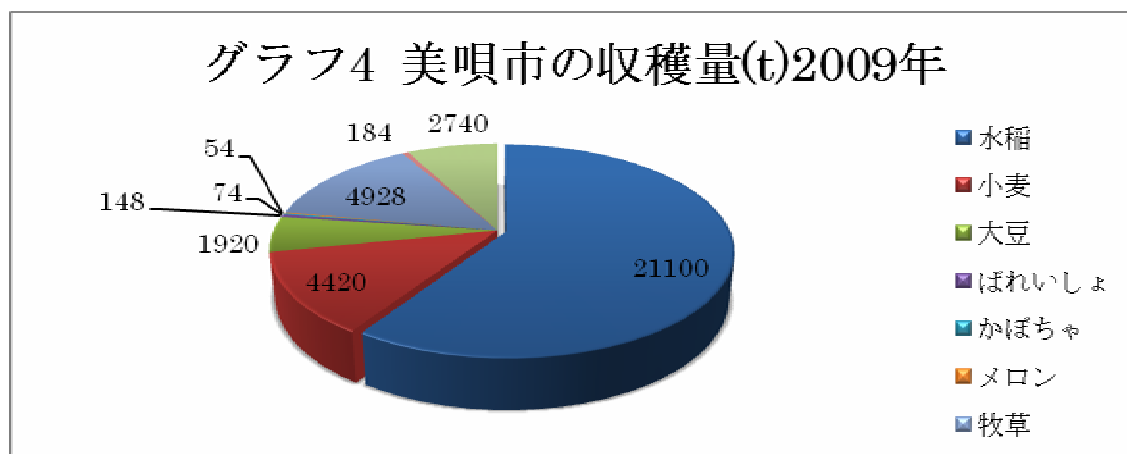
出典：国勢調査

4.3 農業

基幹産業だった炭鉱も衰退してしまに残る基幹産業は農業となった。市内は肥沃な大地である石狩平野であり、約8,800ha程の農地の中で、特に水稲は作付面積、収穫量とも全道3位を誇る基幹作物となっている。その他にも、全国一の生産量のカブや、グリーンアスパラガス、メロン、大豆、軟白長ネギなどを生産している。これはグラフ4を見るとわかるだろう。近年、食品の安全に対する関心が高まる中で、今後はやはり消費者の方に安全で安心な農作物を提供することが基本だ。例えば、水田の畔にハーブを植栽し、農薬に頼らない栽培方法で生産された米は、「香りの畦みちハーブ米」として販売され、好評を得ている。

また、米政策改革大綱のスタートに合わせて「地域水田農業ビジョン」が策定されたの

で、安全・安心な米や野菜などの産地づくりはもとより、地域農業の担い手となる認定農業者や農業生産法人など、意欲的な経営体の育成・確保などにも努めている。グラフ 5 を見ても美唄市の農産物の主な出荷額を占めているのが米であるので美唄市の財源は米になっているのだろうと思う。



出典：農林水産統計年報

5.観光

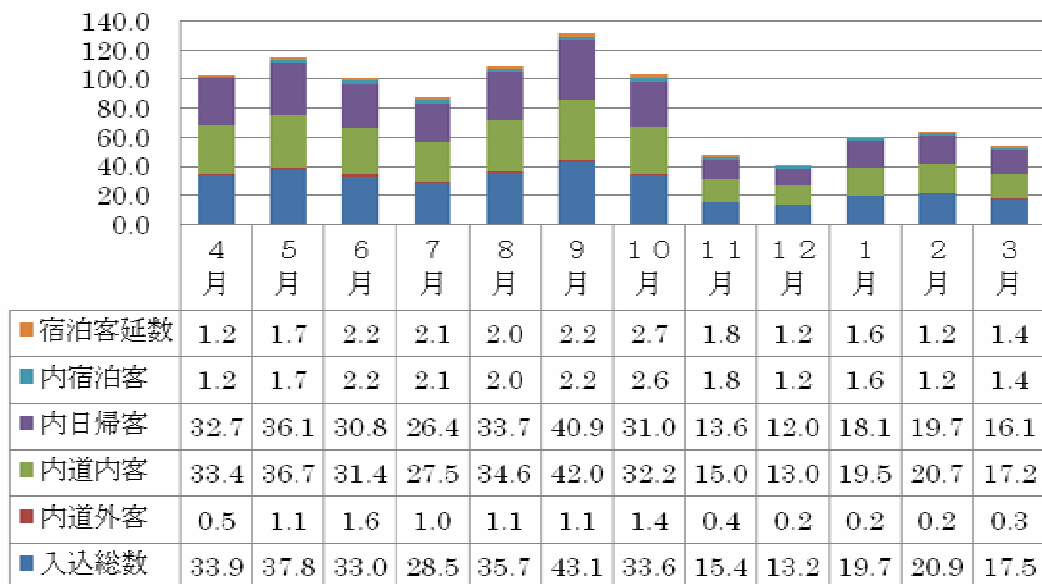
5.1 観光客数の比較

グラフ 6 より、4～9 月の上半期と 10～3 月の下半期を比較すると観光客は上半期の春～夏の季節の温かい時期に多く見られることがわかる。これは、美唄市で咲く桜やつつじを楽しむための客が多いようである。そのため下半期では、上半期に比べ旅行数は減少する。グラフ 7 では、19 年度に比べ 20 年度は減少しているのがわかる。

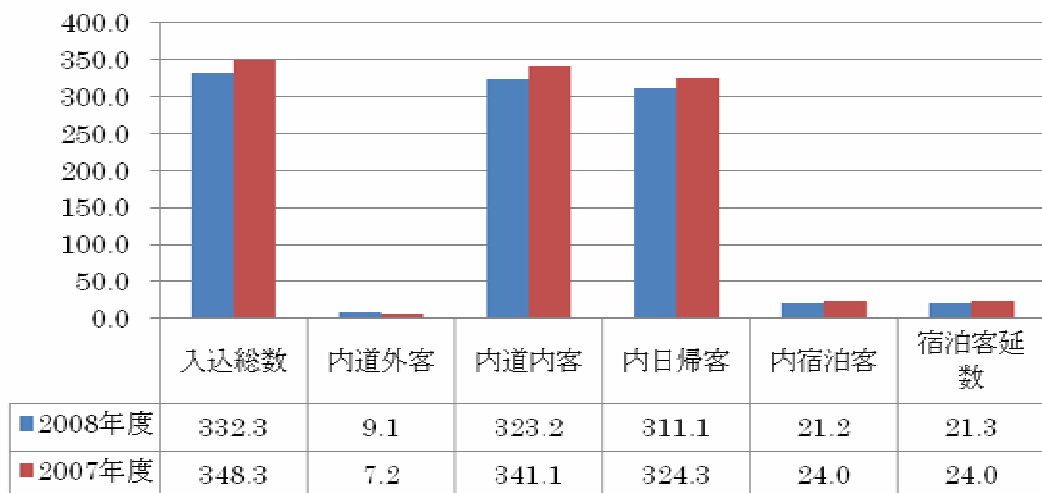
この理由の一つに不景気だということと、観光資源に乏しいこと、メディアへの露出が足りないからだと考えられる。

また、高速道路の無料化でますます立ち寄り客の人数が減少する可能性が高くなるだろう。

グラフ6 08年度月別グラフ



グラフ7 07,08年別グラフ



出典：北海道観光入込客数調査報告書

5.2 観光名所

～宮島沼～

ラムサール条約登録湿地・国設鳥獣保護区・特別保護地区とされている。水面積 30ha 余りの宮島沼に 6 万羽を超えるマガンが飛来する。また、白鳥も数多く飛来する。3 月下旬～4 月に多く飛来し、10 月にピークをむかえる

図 3 宮島沼



出典：紺色のひと

～東明公園～

東明町の丘陵にある都市公園で、春にはソメイヨシノ、エゾヤマザクラなど、約 2,000 本の桜が満開になり続いて、ツツジが咲き誇る、空知管内随一の桜とツツジの名所となっている。また、四季折々のメロディを奏でるスペース・カリヨンからは 1 時間ごとに美しいメロディを聞くことができる。春には「さくらまつり」が開催され、多くの人で賑わい、公園入り口からは「ふるさとの見える丘展望台」へ行くことができ、空知平野を眺望することができます。

図 4 東明公園



出典：美しき唄のまち

～アルテピアッツァ美唄～

アルテピアッツァ美唄は、閉山になった炭鉱の学校跡地に、美唄市と、地元出身の彫刻家・安田侃によって、現在も創られている、野外彫刻公園です。現代彫刻が周囲木々や清流などの自然と深く調和し、人々を魅了している。

施設の内外には、大理石やブロンズの作品 40 点余が展示され、木造校舎の一階部分は幼稚園、二階部分は当時の面影を残す教室に彫刻が展示されたギャラリーになっている。旧体育館を改装したアールスペースや大理石で作られた屋外の石舞台では、コンサートや舞

踊、講演会などが開かれている。工房ストゥディオアルテでは、「こころを彫る授業」が開催され、カフェアルテでは、香り高いコーヒーとともにゆったりした時間を過ごすことができる。

図 5 アルテルピアッツァ



出典：アルテルピアッツァ

以上のことから美唄市は広大な自然に恵まれていて美しい町である。しかし観光としての魅力に欠けるところがある。今後は高速道路の無料化によって立ち寄る客が減少することが予想されるので、道の駅のようなハード面に力をいれていくと良いと思う。また、メディアへの露出を図るとともに、美唄市観光協会の HP の充実化を図るなどソフト面の底上げも必要だと思う。

参照 HP

- ・ 美唄市の統計 HP：<http://www.city.bibai.hokkaido.jp/2006/10/85/>
- ・ 紺色のひと HP：<http://d.hatena.ne.jp/Asay/20100715/1279197378>
- ・ Wikipedia HP：<http://ja.wikipedia.org/wiki/>
- ・ アルテルピアッツァ HP：<http://www.kan-yasuda.co.jp/arte.html>
- ・ 美唄市 HP：<http://www.city.bibai.hokkaido.jp/>